



「高岡市公共施設再編計画」において、デザイン・工芸センターの方向性を、「コスト削減」としているが、どのように進めていくのか。

さらなる利用促進に努めることで、収入増に努めていく。また、これまで維持費削減や備品の見直しをやってきた。今後は設備機器面でのコスト削減を進める。

コスト削減を行いながら後継者育成を継続するため、高岡市で施設をもたず、民間企業に工房をお借りして事業をつづけるなど、連携を図ってはどうか。

現在ある施設をできる限り効果的に維持・利用しながら、民間施設の借用については今後の検討課題にしたい。



特に私がお伝えしたいことは、利用者の少なさと収支です。

デザイン・工芸センターにおける、令和元年度の利用者数は2022人、収支はマイナス5056万円ということを見ると、そのおかしさが際立っているのではないのでしょうか。

付け加えると、5000万円という予算はとても大きいもので、以前市内を走行していた、コミュニティバス「こみち」の年間の予算が4000万円でした。

つまり、コミュニティバスの年間予算を上回る赤字が毎年、利用者が2000人の施設に使われています。

高岡市は基本的には現状を大きく変えずにこの施設を維持していくとの答弁でしたが、私は、この実態を踏まえて、一刻も早く改善に向けて取り組まなければいけないと考えています。

この想いを質問を通して伝えましたが、なかなかすぐに変えていくのは難しいという印象でした。

私は、地域コミュニティと結びつきが濃い教育系・文化系の施設は、維持に向けて努力すべきと考えていますが、公共施設は市民の皆様の税金で運営していますので、利用者の少ないところに関しては、本当に必要なのか？ほかに工夫はできないのかということをしっかりチェックしていく必要があると思っています。

子育て環境の充実を求める質問など、こちらに載せきれなかったやり取りがあります！ 続きが気になる方はぜひ「くまきよしきのブログ」まで！

右側のQRコードを読み取っていただくか、「熊木よしき」で検索をお願いします！



議会豆知識！

一般質問とは？

市議会議員の質問では、「代表質問」「一般質問」という形式があります。今回私がしたのは「一般質問」です。

「一般質問」とは、私たち議員が、市政に関する様々なテーマで、「あれはどうなっている？」と現状を聞いたり、「もっとこうしてはどうか」と既存の取り組みに対する意見を言ったり、新しい事業に関して提案したりしながら、市役所の考えを答えてもらうという機会です。

また、「代表質問」というのは、大きな議員グループの意見を集約して、代表者が市に問いただすというもので、4人以上の議員が所属する会派(市議会でのグループ)にのみ認められています。3名の私たち「高岡愛」ができないのは残念ですが、他グループの先輩方の質問をみて勉強させていただきました。



SNSにて、最新情報発信中！

市政に対するご意見やご相談など、SNSやメールにて承っております。ぜひ、お気軽にご連絡ください。

y.kumaki26@gmail.com

Twitterアカウント⇒



「高岡愛」チャンネル、ぜひご覧ください！

熊木が所属する会派、「高岡愛」では、提案と発信をテーマに、YouTubeにて高岡市政情報をお伝えしています。



YouTubeで「高岡愛チャンネル」と検索！

その他今回のチラシに関するご意見・ご感想など、どんな内容でもお気軽にお問い合わせください！

☎0766-25-3861

✉ y.kumaki26@gmail.com

🌐 <http://kumakiyoshiki.com/>

熊木義城後援会事務所 熊木義城瓦版第3号編集・発行：熊木義城政策フォーラム 高岡市京町14-7 令和4年2月1日発行

